



年賀用

はキガハと刺名御

へ番〇三六話電

社會式株刷印日每警常

農村牛馬の共同飼育

副業として最も利益

農村不況の対策として石城郡農會では過般自家用醬油の製造と金肥の節約として

堆肥施用を奨励した

が更に又同農會は牛馬の共同飼育を極力農家にすすめ、てゐるこれによつて見れば、繁忙期に際し努力が公平に利用され金肥節約の堆肥の如きも自然使用が出来るのみならず各自において飼育するよりは経費も少く

肉食用にも販賣する

ことが出来るわけで副業として最も多額の利益を得られ、實現の曉は大いに有利として各方面から迎へられてゐる

三井廢山跡に

一大牧場を

羊の共同飼育

石城郡磐崎村大字藤原では三井炭坑の廢山で生活の途を奪はれたので郡農會の働きでめん羊の共同飼育を始めたところすこぶる好成績で近く炭坑地帯跡に一大牧場を造る計畫を進めてゐる

福島炭礦で

斤先契約

かき首騒ぎが持ち上るか

長期的經濟界の不況の影響を受け遂に經營難に陥つた

縣道編入

期成委員出縣

四日から矢吹氏は事業に着手したが時節柄、從業員には異動はないもの、如く觀測されてゐるが矢吹氏は消極的經營方針をとる由であるから或は誠意も持ち上るものと労働者達は戦々恟々として居り平署特高課では警戒してゐる

常磐炭坑の一つ石城郡赤井村株式會社福島炭坑は遂に採掘販賣の一切を昨年當時の所長たりし前經營者菊地氏に一任して今日に及んだが炭質の粗悪と一層深刻な不況によつて更に經濟的に行詰りを生じた菊地氏は同坑の一部を石城郡内郷村の矢吹順衛氏と三日夜ひそかに斤先契約をなし

石城郡上遠野から植田町に通ずる縣道中央の辰の口から同郡山田、田人を経て東白川及び石川兩郡下に通ずる道路の縣道編入建議案は今大縣會に石城郡選出古川縣議以下によつて提出されたは既報したが地元の植田上遠野、田人、山田、の各町村では地方産業發達のため大いに喜びこの縣道編入案に對し極力通過を期して兩三日中に期成委員が大舉して出縣々々に陳情する事となつた

また患者が発生

隔離舎へ外来者收容

一日十圓以上の損失

平町の傳染病隔離舎は去月二十八日入院患者が全部退院したので町當局では閉鎖する事が出来ると非常によろこんでゐた所二日の午後二時ごろ平町大町磐城共濟病院に入院治療中であつた石城郡豊間村下町馬目齋が腸チフスと決定隔離舎へ收容されたので僅か一人の外來患者に醫師及び看護婦手當その他で一日十圓以上の費用を要するので町當局では大こぼしをしてゐる

平町の歳末狂騒曲

(三)

損徳をかへり見ず現ナマで一錢づゝでも余けい以上に上げてたいと云ふのが歳末期にかけて誰もがもつ通有性だ、これ程に金の忙しさと有難

馬耕競技

平から出場

縣農會主催の馬耕競技會は来る十日原ノ町に於いて開催されるが石城郡より選手として平町の高島鶴吉、佐藤高則の兩名が出場すると

平驛乗客激減

去月中の統計

平驛十一月中の旅客收入は一萬八千八百九十一圓〇八錢で前年同期に比して四千四百四十六圓七十九錢の激減であつた、乗客總數は二百九十九人、三等四萬六千七百三十八人で前年同期に比して一萬四千七百廿八人、降客は四萬五千四百九十人に比して一萬五千八百廿一人の減であつた

農産品評各

夫々決定す

既報六七八の三日間磐城訓官院に開かれる農産品評會の各分擔事務係員左記の如くである

(受村係長)平窪大津技師 (第一類)湯本坂々左

さをつくくと味はされるのも歳末だ、歳末期に入つてからめだつて

金集めをやつてゐるのは平町各活動、芝居興業屋連で觀覽料金を下げたり、五錢から十錢、二十錢あまり安くて有難さと面白さがなくない位だとは或人の話かくまで、値下げを断行しても

文藝募集

廿五日から開始されたものであつて郡南方面は成績が良かった由

平署拘留者數

警察管内に於ける本年一月以降十一月末日までの拘留者數は百六十四、拘引狀三十一、拘留五十九、總計二百五十九件の多きに達した

家畜保險

組合組織準備

石城郡産馬畜産組合では縣の方針により目下家畜保險組合を設立すべく實現準備をなしてゐる現在同郡下は産地だけに六千五百餘頭の馬があり保險組合加入家畜の年齢は二歳から十六歳まであるが大体三千頭内外は加入するものと豫想されこれに主務省の補助があり充分設立して繼續しゆく確信がついたので近く評議員會を開き協議の上明春早々實現する意向である

平町人事

出生

△南町七〇 關根政吉氏長男房夫 △四丁目一九 横山八郎氏二男謙二郎

婚姻

△南町七〇 關根政吉氏(二四)安積 那日和町柳内シヅ子(二一)

死亡

△材木町五五 當時東京府總戸町鈴木富美江(五五) △新川町九 當時石城郡内郷村鈴木次夫(二〇)

結核牛の検査

今朝平町に於て結核牛の検査中であるが右検査は去月

泥酔暴行検束

郡湯本町大工菅野親(〇)は三日夜平町南町料理店藤間りん方に登樓泥酔の上暴行を働いたので平署で検束拘留分に付した

新年文藝懸賞募集

初春の紙を飾る
縮切 十二月廿日
宛名 官製はがき
宛名 本社文藝部

和歌 『山』 一人各三首限 高久晚霞氏選
俳句 『春着』 一人各三句限 渡邊何鳴氏選
童謡 『正月』 二人各一篇 川崎小鳥氏選
詩 隨意 二人各一篇 片寄耿二氏選
短歌 『光』 一人各五首限 白木英尾氏選

● 投書には『新年文藝』と種目とを必ず明記すること
● 入賞者を一名 二等二名 三等三名に分ち各賞品を呈す

炊き上げた御飯が 消え失せる

怪談か? 否々
生活戦上の笑ひぬ喜劇

どんよりの雲低くたれて雪もよひの日は續く平地方の昨今……遂日寒さが加はると共に不景氣の深刻さも亦だん／＼ひどくなつてゆく

失業者は増える一方生活戦線上に起る「笑ひぬ喜劇」泣かうにも泣き得ぬ悲劇」の如何に多いと

ものに「釜米泥棒」がある、釜に米を入れて竈にしかけ一寸外出して戻つてみると何時の間にか米が失くなくなつてゐる、ひどいものになると釜ごと盗まれる始末「三人の小さい子供たちにも昨夜から御飯を喰べさせない」と云ふ

五人暮の一家が漸く工面した金で米を買求め

泥棒野郎と罵る

翌日は叩き殺すと罵入
被害者平署へ告訴

石城郡豊間村大字豊間鈴木忠兵衛(三)は去月卅日同村役場で除隊兵歓迎會の席上同村遠藤勝啓(三)をゴマ野郎、泥棒野郎と罵つた揚句翌日は昨日の恨みがあるから叩き殺すと罵入し隣人に取押へられたが勝啓は忠兵衛を相手取つて平署に告訴を提起した

小野田斜坑を 廢坑に
従業員全部 本坑に轉す

(既報)廢坑の噂高かつた石城郡磐崎村小野田炭礦長倉斜坑は昨日廢坑と決したが従業員全部を本坑に轉し失業者を出さないといふ

隠し藝續出
賑々しく開く

縣立磐城高等女學校の前身舊磐城女學校の卒業者は十七日午後一時から古鍛冶町山崎會長宅にて同窓會を開き隠し藝持ち寄り賑々しく互ひの健康を祝し合ふと

衛生日實施
平町各小學校

平町の各小學校では毎月第一第三の水曜日を衛生日に定め兒童の衛生思想を涵養するため左の事項を實施することに定めた

一、受持教員は各兒童を望見により疾病の徴候ある兒童の發見に努め疑はしき症狀あるものは左に應じ學校醫の檢診を求め

最初の寒さ
三度方低か

石城郡地方は昨夜來氣温零下三度一分に下り本冬最初の寒さを示した尙小名濱

明日のラジオ
六日
北東の風暴

- 前七、〇〇 ラヂオ体操
- 前九、〇〇 氣象通報
- 前九、一〇 料理献立
- ルーツ、サラダ、ドレッシング
- 前二、〇〇 家庭講座
- 「度量衡と買物の心得」
- 東京府推度課長 長治政五郎
- 正午 時報
- 後〇、〇五 獨唱 アルト
- 獨唱 永井美奈子
- ノ伴奏 宮城通子
- 一、ホフマンの船唄 オ
- フエンバーハ作曲 二、河

賽錢を盗み
平驛で捕る

三日午後四時ころ平驛を徘徊する舉動不審の男を驛前交番の二瓶巡査が本署に引致取調べた處同人は秋田縣生れ當時住所不定廣川仙吉(四)と稱し去月來より勿來町を中心として神社の賽錢を窃取したこと自白したが他に餘罪ある見込で引續き取調中

石城遊興稅
一萬圓割當

縣の平稅務出張所では石城郡内の料理店や貸座敷營業者から徵收する遊興稅は五年度より大体二割減で總額二萬七千六百圓を請負はせ徵收する事に決定した

足を轢断
一時間後に死亡

今朝五時四十一分頃平驛連結手石城郡草野村生れ坂本

- 友文樹
- 後六、三〇 英語講座「中等科」(第六講の三)全田忠藏
- 後七、〇〇 ニュース
- 後七、二五 講演
- 後八、〇〇 管絃樂 一、雅樂院王二、シークリット
- 牧歌 日本放送交響樂團
- 指揮近衛直麿 ニコライ
- シフエルブラット
- 後八、四〇 民謡 一、花巻
- 溫泉小唄權助其他 二、貌鼻追分 岩手縣長坂村有志
- 後九、〇〇 義太夫「心中紙屋治兵衛」淨瑠璃豊竹
- 巖太夫三味線豊澤三郎
- 後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告 告知事項

相馬たより

▲中村爾市場相馬郡共同販賣所に於て第一回農業倉庫米を入札販賣せし處市價三等米六圓九十四錢、四等米六圓八十錢、五等米六圓五十六錢であつた

▲中村町字南町酒井氏は電燈減燭委員に推されたので今明日中福島電燈株式會社中村營業所に向つて街燈の減燭を申込み若し聽れざる場合は本社に直談判すると

▲中村警察署を通して各町村役場に左の券一千枚を配附した

▲一施料券(町村稅免除者) 一輕費患者(町村稅平均額五分の一免除者) 診療すること

▲に決し十二月一日より實施、輕費患者に對しては一藥十錢其他は半額とした、同事業設置に關し力を入れたるは中村町南町醫士荒川榮五郎氏である

足轢断
一時間後に死亡

今朝五時四十一分頃平驛連結手石城郡草野村生れ坂本



東京 橋場鮎刺

(采田安藏)

久太郎は突然たるもので、口を... 捕物おぼえ... 東京 橋場鮎刺... 采田安藏... 久太郎は突然たるもので、口を...

開店披露

永らく皆様の御鼻負を頂きました... 叶家を廢めまして私此の度左記の... 料理店を開きました何卒倍舊の御... 引立を願ひます

君乃家

電話三八二番

美味、滋養 シュウクリーム ヤトモツマ 目丁四平 香四一二話電

市原醫院

平町田町(電話一一四番) 内科、小兒科 市原卯太郎 外科一般、婦人科 市原陸郎 外科、梅毒、淋毒 市原三三男

入院隨時

看護婦急派の求めに應じます

平看護婦會 平町南町 電話三〇七番

木村病院

平新川町十九 電話一六四番 産人科 院長 木村寅次郎 女醫 木村コウ 内臓外科 醫學士 松氷憲一 整形外科 醫學士 原駿二

印刷御の物刷印 總て 常警日每印刷株式會社 電話三六〇番

魚問屋 最優最 平賀三番 本店盛目 日理電二 命生榮平

別府淋藥 服用者大好評 別府温泉で名高い岩里家の家傳秘藥... 阿康藥舖 一手特約店 平古鐵治町(電話四四番)

酒場開設 此の勉強振りを御覽下さい 均錢十 湯豆腐一皿三錢 肉鍋一皿十五錢